

授業科目	日本国憲法				単位	2		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH10403J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-2			
担当教員	森 敦嗣							
授業概要	<p>日本国憲法は施行されてから 70 年以上がたとうとしている。現在、その憲法が内容を改正するかどうかの岐路にある。もし改正するとなると最終的に決定するのは国民投票であり、それに参加する主権者である私たち国民だ。いわば国民には日本国憲法の将来がかかっていると言える。憲法を改正するか現状維持かの選択権をもつ私たち国民には、日本国憲法がもつ意義と国民にとっての役割を考えることがいま求められている。この講義ではその憲法が持つ意義と国民にとっての役割を中心に、憲法における立憲主義の意義、日本国憲法における人権とその内容、そして憲法を支える統治機構についての解説を中心に授業を進める。中盤では、裁判所が現在実施している裁判員制度に注目し、この制度の意義について考えてもらう。その一環として、模擬裁判の動画を視聴し、その後学生たちには裁判員になってもらい、各グループでグループワークを行って判決文を書いてもらう。さらに後半では裁判員制度と関連するものとして死刑制度について解説する。講義では映像を混じえつつこの制度の是非を考えていく。終盤では憲法改正についてとりあげる。政府与党が現行憲法の何をどのような理由で変えようしているのか。改正に反対する護憲派の主張と比較しながら解説する。</p> <p>毎回の授業では授業内容に即したレジュメを配布する。小テストに該当する課題としては裁判員制度のグループワークを行う。さらに授業内で取り上げる諸々の制度についてのレポートを適宜実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.憲法の基本的な知識と用語を理解し説明できる。</p> <p>2.日本国憲法がもつ立憲主義の意義と国民にとっての役割を理解し、自らの意見を論理的に説明できる。</p> <p>3.憲法に関連する裁判員制度・死刑制度について、自らの考えを論理的に述べるができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	15	15	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	50	10	5			0	65	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	20	5	10				35	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本国憲法がもつ基本的な知識と用語、国民にとっての憲法の役割を理解・説明できる。憲法に関連する様々な諸制度の賛否について、自らの考えを論理的に説明できる				日本国憲法に関連する基本的な知識と用語、国民にとっての憲法の役割を理解・説明できるようになる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: イントロダクション(森 敦嗣) 授業の概要と評価方法について、講義の動機づけ「なぜ憲法を学ぶのか」	講義	復習: 配布資料の見直し	60
2	テーマ: 憲法総論(1)(森 敦嗣) 憲法の理念、人権と統治機構の概要	講義	復習: 配布資料の見直し	60
3	テーマ: 憲法総論(2)(森 敦嗣) 立憲主義と民主主義について	講義	復習: 配布資料の見直し	60
4	テーマ: 憲法総論(3)(森 敦嗣) 平和主義の原理、自衛隊の存在と9条との関係について	講義	復習: 配布資料の見直し	60
5	テーマ: 統治機構(1)(森 敦嗣) 国会と内閣、首相公選制の賛否を考える、レポート課題①	講義	復習: 配布資料の見直し、レポート?課題	120
6	テーマ: 統治機構(2)(森 敦嗣) 裁判員制度関連動画を使った模擬裁判①、裁判員として判決を考える(グループワーク)	映像を使ったグループ討論	復習: 配布資料の見直し	60
7	テーマ: 統治機構(3)(森 敦嗣) 裁判員制度関連動画を使った模擬裁判②、裁判員として判決を考える(グループ討論)	映像を使ったグループ討論	復習: 配布資料の見直し	60
8	テーマ: 統治機構(4)(森 敦嗣) 裁判員制度の意義と課題、裁判員制度の今後の継続に賛成派、反対派、それぞれの主張の解説	講義	復習: 配布資料の見直し	60
9	テーマ: 基本的人権(1)(森 敦嗣) 基本的人権の原理について	講義	復習: 配布資料の見直し	60
10	テーマ: 基本的人権(2)(森 敦嗣) 各々の人権の概要と公共の福祉について	講義	復習: 配布資料の見直し	60
11	テーマ: 基本的人権(3)(森 敦嗣) 包括的基本権と法の下での平等、何をもって平等といえるのか	講義	復習: 配布資料の見直し	60
12	テーマ: 死刑制度の是非を考える(森 敦嗣) 日本の死刑制度と死刑囚の生活について、死刑制度賛成派、反対派それぞれの主張の紹介、レポート②提出	講義	復習: 配布資料の見直し、レポート②課題	120
13	テーマ: 人権各論(1)(森 敦嗣) 精神的自由権、経済的自由権、人身の自由	講義	復習: 配布資料の見直し	60
14	テーマ: 人権各論(2)(森 敦嗣) 社会権における国家と国民の関係、選挙権の特徴	講義	復習: 配布資料の見直し	60
15	テーマ: 憲法改正、全体のまとめ(森 敦嗣) ・なぜ今憲法を変えようしているのか、憲法改正の手続き、改正草案の解説 ・改正草案の解説と改正理由、護憲派の指摘する問題点について ・本講義全体の総括、試験対策について	講義	復習: 配布資料の見直し 予習: これまでの配布レジュメを見直しておくこと	120
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能				
予備的な知識は特に必要としないが、テレビやインターネットで政治・社会関連のニュースを見ておくことが望ましい。				
テキスト				
テキストは特に使用せず、授業中にレジユメを配布する。場合によっては資料を配布する。				
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介				
駒村圭吾／編『プレステップ憲法 第3版』(弘文堂、2021年) 伊藤真『伊藤真の憲法入門第7版——講義再現版——』(日本評論社、2022年) 村和男／監修『新装版 日本国憲法』(ブティック社、2013年)				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ				
参考文献はすべて購入する必要はないが一冊(特にプレステップ憲法)だけでも手元に置いておくと理解しやすい。配布プリントの整理を心掛け、復習を中心に行ってほしい。またTVのニュースや新聞に日頃から目を通し今何が問題となっているのか把握しておくこと。 (注意事項) ・レポート、課題等の提出の締め切りは厳守。「正当な理由のない」期限を過ぎての提出は欠席となる。 ・授業妨害となるような私語や携帯、SNSの使用は厳禁とし場合によっては退室させる 憲法は国の基本法といわれているが、その内容と憲法が私たちの生活にどのように関係しているのか知る人は多くはない。国のルールというと堅苦しい印象があるが、実は私たちの権利や生活を保障してくれる大切なものである。本講義を通して憲法についての理解を深め、関心をもってもらいたい。				
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法				
試験(70%)及び小テスト(15%)、レポート(15%)で評価する。各々の内容については、授業の中で指示する。 小テストに該当する判決文はグループワークのため採点后、各グループに点数を提示する。レポートは返却し、内容によってはコメントをつける。試験は成績発表後に回答例を提示する。 レポート含めた記述課題は、自分の主張が明確であること、その主張をする理由が理論的であり(できれば)複数あること、さらに文体の統一を重視する。				

